学校番号	2004

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「国語表現」　（大修館書店）						
副教材等	「国語表現基礎練習ノート」（大修館書店）「プログレス（読解・論点・探究）現代文　総演習　発展編」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

表現とは何か。他者に何かを伝えようとするとき、我々はそこに困難さを感じることが多い。コロナが蔓延し、学校教育活動が大きく制限された過去３年間を思うとき、その難しさは倍増するように感じる。

生徒たちは、一人一台のスマホを所有し、LINE 等のみで意思疎通を図ろうとする。単語や絵文字だけで会話らしきものが成立しているような場合もある。人間と人間との対話によって正しく意思疎通を図るようにするにはどうしたらよいのか。その点を念頭におきながら、いろいろな場面で、言語を用いて自分を表現する活動を計画している。

教科書のほか、「国語表現練習ノート」を併用しながら、情報収集、インタビュー、アンケート、ＰＲポスター作成等に当たる。また入試にも目を向け、面接練習、スピーチ、作文、志望動機や小論文作成にも取り組む。「表現を楽しむ」として、はがき、手紙、俳句や短歌、エッセイ、小説にも挑戦し、各種の機関に応募する（大学、俳句短歌の記念館等）。また、文章をどう読み、まとめるのかを考えるために、問題集も使用する。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き，進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

ａ目的や場面、相手、手段に応じて、効果的な言葉を選択・調整することの重要性を理解する。

ｂ主張する内容を明確にし、的確な言葉で表現する。読み手の共感が得られるように、文章の構成や展開を十分に工夫して書く。

ｃコミュニケーションや思考において「伝え合う力」が重要であることを十分に理解し、文章作成のみならず、インタビューやアンケートの作成・企画や執筆活動等についても積極的に臨もうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴やきまり，役割などについての理解を深め，知識を身に付けている。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させており。相手や目的，意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き，自分の考えを深め，発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに，国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	表現を力を培う ［教材］テキスト、準拠用練習ノートレッスン1	a：課題に基づいた資料について正確に読みとる。 b［ 書 ］：文体や係り受けを整え、より適切な表現を用いて自分の思いを書く。 c：自分なりの考えがまとめられている。	準拠用練習ノート	問題集	ショートストーリー・エッセイ製作と応募
	表現を力を培う ［教材］テキスト、準拠用練習ノートレッスン2	a：課題に基づいた資料について正確に読みとる。 b［ 聞 ］：目的に合った話題を選び、積極的に相手の話を引き出す。 c：問いに工夫がみられる。	準拠用練習ノート	問題集	インタビューのまとめ、クラブ紹介紙等の製作
	表現を力を培う ［教材］テキスト、準拠用練習ノートレッスン3	a：インタビュー、聞き取り取材の技術を身に付けている。 b［ 話 ］：目的に合わせて書く事柄を決め、伝える情報の組み合わせを考える。 C：自己 PR に工夫がみられる。	準拠用練習ノート	問題集	短歌・俳句の製作（応募）
	表現を力を培う ［教材］テキスト、準拠用練習ノートレッスン4	a：文章修正の技術を身に付けている。 b［ 書 ］：適切な根拠を示し、論理の展開を工夫して書く。 c：説得力のある文章が書けている。	準拠用練習ノート	問題集	自己 PR 文 面接用資料 志望理由書
後期	表現を力を培う ［教材］テキスト、準拠用練習ノートレッスン5	a：話し合いのための資料を作成する。 b［ 話 ］：論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞く。話し手の立場や気持ちを踏まえながら共感的かつ公平に聞く。 c：いろいろな話し合いの形態を学ぶ	準拠用練習ノート	問題集	小論文各種
	表現を楽しむ ［教材］テキスト、準拠用練習ノートレッスン6	a：情報発信のための情報活用力を身に付けている。 b［ 書 ］：企画書の読み手に配慮し、適切な根拠を効果的に用いて文章の構成を考える。 c：報告書や学校案内を作成できる。	準拠用練習ノート	問題集	学校 PR 紙の製作
	表現を楽しむ ［教材］テキスト、準拠用練習ノート基礎力強化ワーク1～4	a：説得力ある提案をするための資料を作成できる。 b［ 話 ］：説得力のある提案となるよう適切な根拠を効果的に用い、話の構成を工夫する。 c：提案書の書き方を身に付けている。	準拠用練習ノート	問題集	はがき、手紙の製作
	表現を楽しむ ［教材］テキスト、準拠用練習ノート基礎力強化ワーク5～8	a：自己表現のための作品ができている。 b［ 書 ］：世の中の出来事や自分の体験などから適切な題材を選び、伝えたいことを明確にして作品を創作している。 c：創作に工夫がみられる。	準拠用練習ノート	問題集	ショートストーリー 小説の創作

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［b］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　０　）時間